

## ふれあい交流事業 『エンゼル会』



**開催日** 年6回  
**対象者** ダウン症等の染色体異常児と保護者  
**場 所** 鈴鹿市社会福祉センター  
青少年センターなど  
**参加費** 年間 3000 円  
**内 容** 季節行事(夏イベント、クリスマス会)  
おしゃべり会等

エンゼル会 おおにし 大西 みほ 美帆さん おおたけ 大竹 ちはる 千春さんにお話を伺いました



### ◆◆ふれあい交流事業を始めたきっかけとは◆◆

- エンゼル会は 39 年前に県内のダウン症の子どもを育てる家族が集まり、情報交換や交流等を目的として立ち上げられ、現在では活動が三重県全域に広がり、主に地区毎に活動が行われています。鈴鹿地区では、現在 16 家族が加入されています。私は自分の子どもがダウン症と診断され、病院等でエンゼル会のことを紹介されたのがきっかけで加入し、様々なことを教えていただきました。他にも地域でダウン症の子どもを育てる家族との交流ができればと思い、活動しています。

### ◆◆活動を始めて良かったことを教えてください◆◆

- 自分の子どもがダウン症だと言われた時に、今後どのようにしていけばよいか等、とても不安な気持ちになると思います。そんな時に、同じダウン症の子どもを育てる家族の方にいろいろな相談や利用できるサービス等を教えてもらったり、実際に他の家族のダウン症の方の成長を見て、将来への準備や子どもの成長に向けて様々な情報交換ができることがとてもいいことだと思います。またダウン症の子どもたちも、季節行事等を通して、とても喜んで参加していて、活動することへのやりがいにも繋がっています。

### ◆◆活動を始めて困ったことを教えてください◆◆

- 子どもが小さい頃は加入をされていて、子どもが大きくなり、特別支援学校等に入るとそちらで情報が得られ、交流が持てるため、脱退される方が多いです。また、毎年新しい方の加入があるのが通例ですが、コロナ禍になり、感染リスク等の理由で活動が縮小することで、新しく加入される方がほとんどいなくなりました。他、安定した活動場所の確保についても課題です。

### ◆◆今後の展望を教えてください◆◆

- 新しい方や、既に参加していただいている方に、今後も継続して来ていただけるように、活動内容の検討や周知をしていきたいと思っています。